

ひょうごの地域学校協働活動 1

～令和2年度版～

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 【特集】ふるさとの自然から「発見！」 | 4・5 兵庫県内の様々な地域学校協働活動 |
| 2 Withコロナの活動 | 6・7 導入進む！コミュニティ・スクール |
| 3 数字でみる！～どんな活動、どのくらい～ | 8 学校と地域の連携をさらに深めるために |

発行
 兵庫県教育委員会事務局社会教育課
 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
 TEL: 078-341-7711 (代表)
<https://www.hyogo-c.ed.jp/~shabun-bo/index.html>

ふるさとの自然から「発見！」 丹波篠山市立西紀南小学校「学校応援団」

02教P4-011A2

活動例1



あきのたからものランド

11月4日(水)丹波篠山市立西紀南小学校の1年生「生活」の時間を参観させていただきました。地域ボランティア「学校応援団」のみなさんと共に行う授業です。ワイワイ、と楽しい声が聞こえます。

赤や黄色に色づいた葉っぱやどんぐりなど、秋の素材が教室や廊下にたくさん並んでいます。地域のみなさんと一緒に集めたそうです。

授業の目標は「秋の素材の特徴を生かし、工夫しておもちゃやかざりをつくる」です。4つの班に分かれて遊び道具や、クイズ、ゲームを工夫して作っていきます。

**やじろべえのバランスばっちり！
 この問題は難易度★★★だ！
 どんぐりに穴をあけたいな。
 ひもの長さはどのくらいがいいかな？
 この字で合ってるのかな？**

子どもたちと一緒に「？」を解決し、「発見！」「できた！」を一緒に楽しむ「学校応援団」のみなさんの笑顔が「あきのたからもの」のようでした。

子どもたちにとって、よりよい学習環境や、教育活動が活性化されるよう、西紀南小学校学校運営協議会で「学校応援団」の活動について話し合われたそうです。学校運営協議会と地域学校協働活動が一体的に推進(8面)されていました。

～参観後にお聞きしました～

Q 声かけがとても温かかったです。「こうでしょ」って、答えを言いたくなったりしませんか？

A 質問形式になっちゃいます。
 学校応援団 肥後智江さん
 (学校運営協議会・委員)

普段は読み聞かせの活動をしています。活動を通じて、色々な感性の子がいるんだと知りました。子どもたちと接する時は、

「どんな発見するのだろうか？」って楽しみに思っています。すると、自然に質問形式になるんです。「どうしてそう思ったの？」と。

子どもたちの答えに、「なるほどな～」と、思うことがたくさんあり、楽しいです。

子どもたちから学ばせてもらっています。

Q 活動はどのように決め、地域の方を集めているのですか？

A 応援してほしいことをピックアップしました。
 西紀南小校長 細見康彦先生

地域の方に支援して欲しいことを、まずは教員がピックアップしました。学校運営協議会で話し合っていたいただき、応援いただける方を募るといった形です。

学校運営協議会の委員さんから応援団の輪が広がっています。橋渡しになってくださる学校運営協議会、そして委員の方の存在がとても大きいです。



A 口伝えが口伝えを呼んでいます。
 学校応援団 北山豊さん
 (学校運営協議会・会長)

学校に協力はしたいけど、「何をどうすればいいのか分からない」という方もいました。「学校応援団」立ち上げのときは、学校運営協議会の委員がそれぞれにつながるのある方に声をかけるところからはじめました。「一緒にやったらう！」という気持ちで集まっています。

これからは、このつながりをもとに、広く呼びかけていこうと考えています。

丹波篠山市立西紀南小学校運営協議会
 ～「学校応援団」(地域ボランティア)～
 西紀南小学校の教育活動を保護者や地域が支援する活動を行っています。
 登録46名(令和2年11月現在)

- ・地域を学ぶ全校遠足
 ～みなみっこハイキング～
- ・子どもたちへ伝えたい言葉紹介
- ・書き初め練習(国語)
- ・地域の祭りや文化(社会)
- ・地域の生き物観察(理科)
- ・和楽器体験(音楽)
- ・調理・ミシン実習補助(家庭科) 他

丹波篠山市立西紀南小学校
<https://nishiminami-el.Sasayama.jp>



Withコロナの活動

活動例2 安全・安心を第一に・新しい試みへのチャレンジ

宝塚市立末広小学校では、放課後や週末等に小学校の校庭や、余裕教室を活用し、子どもたちにとって安全・安心な居場所づくりを提供する、放課後子ども教室「すえひろば」と、学校を支援する学校支援地域本部事業「たからづか学校応援団」を実施しています。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、地域と学校は従来のような連携が困難になりました。しかし、コロナ禍においても、安全・安心な子どもの居場所づくりや、学校支援・家庭教育支援は必要と考え、「**コロナ禍においてできる地域と学校の連携・協働**」ということになりました。

「安全・安心な子どもの居場所を確保すること」
 学校の休業に伴い、活動も中止・延期となっている期間に、子どもも活動者も安全・安心に活動できる内容について、検討しました。
 検討していく中で、**オンラインでできることはないか、という新しい試みへの提案**がありました。
 そこで、関西学院大学の登録団体、「**CLUB GEORDIE (クラブジョーディー)**」に協力を依頼しました。毎年の放課後子ども教室に、協力いただいている団体です。大学1回生～3回生で構成されており、国際交流・国際協力支援を目的として活動されています。

子どもたちの「国際理解」を目的とした学習支援を依頼したところ、学習支援動画をYouTubeで配信することができました。子どもたちからは、「自分のペースで見ることができた」、「この続きをもっと学びたい」、「違う話も聞いてみたい」と好評でした。

また、オンラインの活動に限らず、従来の活動においても支援方法に工夫をしました。例えば、クラブ活動の補助では、地域の方が将棋を教えています。従来では、対面・近距離となる将棋の指導は、密を避けるため、ボードに大きな将棋盤を貼り出し、離れていても指導できるようにしました。その他の活動でも、感染症対策をしながら、子どもたちや支援する大人にとっても、安全で安心な場づくりを継続していきたいと考えています。

「人々や団体間のネットワーク強化と新しい可能性」
 コロナ禍の今こそ、様々な分野に強みを持つ人々が力を合わせて活動できるように、人々や団体間のネットワーク強化に力を入れました。
 また、これまでの活動に工夫を凝らしている中、オンラインの活用という新しい試みには、様々な可能性を感じることができました。今後も活用の範囲を広げていきたいと思えます。

(宝塚市立末広小学校)

すえひろば (放課後子ども教室)
<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/kosodateshien/1001513/1001514/1001986.html>



たからづか学校応援団 (学校支援地域本部事業)
<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/shogaigakusyu/1001368.html>



CLUB GEORDIE (クラブジョーディー)
<https://www.club-geordie.org/>



活動例3 子どもたちに「本物に触れる」体験を「こうみん未来塾」

「こうみん未来塾 “おうちでこうみん”」

こうみん未来塾では、大学・高等学校・博物館、企業や地域の方など、市のあらゆる人々が協働し、子どもたちに「本物に触れる」体験講座を実施しています。年度当初から、「おうちでこうみん」と題して、プログラムの一部を自宅でも体験できるコンテンツとして編集し、市ホームページで紹介しています。また、今年度の全市版の取組は全てオンラインで開催し、オンラインでも「体験できる」をコンセプトに、ワークキットの郵送、ワークシートの印刷、能の謡いを一緒にやる、望遠鏡をのぞく映像の配信など、オンラインの可能性を模索してきました。

内容

※著作物については制作者等の承諾を得て紹介

- ◆講師自作の動画
- ◆ペーパークラフト
- ◆プログラミングツール
- ◆博物館所蔵の貴重映像など、幅広い分野の多彩なコンテンツを集約して掲載



<https://www.city.sanda.lg.jp/kurashi/machizukuri/koumin/index.html>



「おうちで寺子屋」(三田市)

「おうちで寺子屋」(各学校区での取組)

放課後子ども教室では、「おうちで寺子屋」と題し、リアルな活動が制限される中でも「子どもたちのためにできることを」と、地域の支援者たちが作成した活動プログラムの一部等を市のホームページで紹介しています。算数が楽しくなるよう工夫されたプリントや家で取り組める動画を自分たちで撮影、オンライン講座をYouTubeで配信したり、地域独自のホームページを立ち上げたりするなど、地域の人の特技を活かした温かみのある取組を展開しています。

内容

- ◆算数が楽しく取り組めるプリント・将棋の問題
- ◆コーラスのパート練習用動画
- ◆オンライン講座のYouTube配信
- ◆家でできるトレーニング動画など、自宅で取り組めるコンテンツを紹介

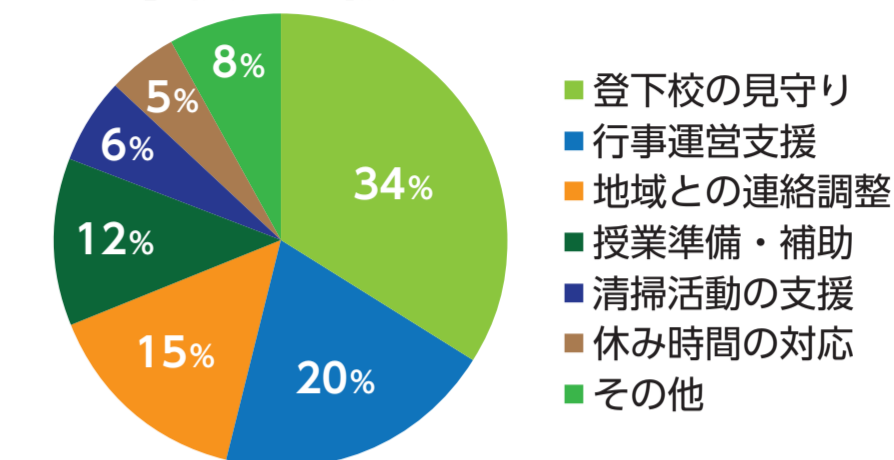


<https://www.city.sanda.lg.jp/sukoyaka/outideterakoya.html>



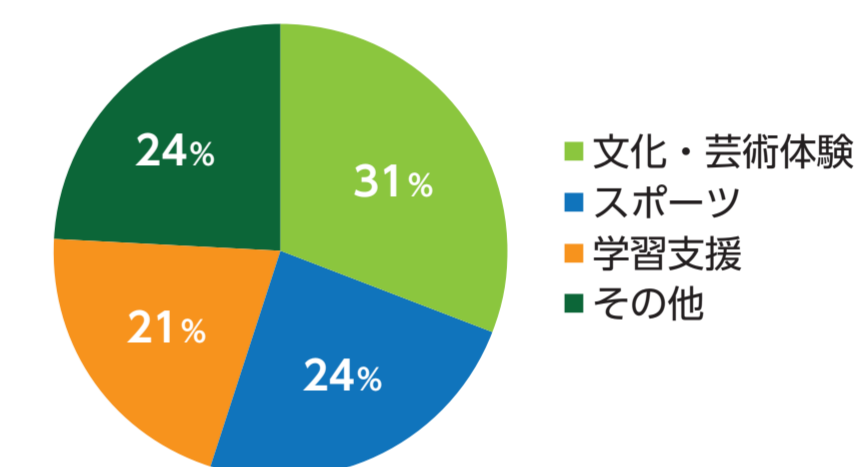
数字で見る！ ～どんな活動、どのくらい～

1 学校を支援する活動



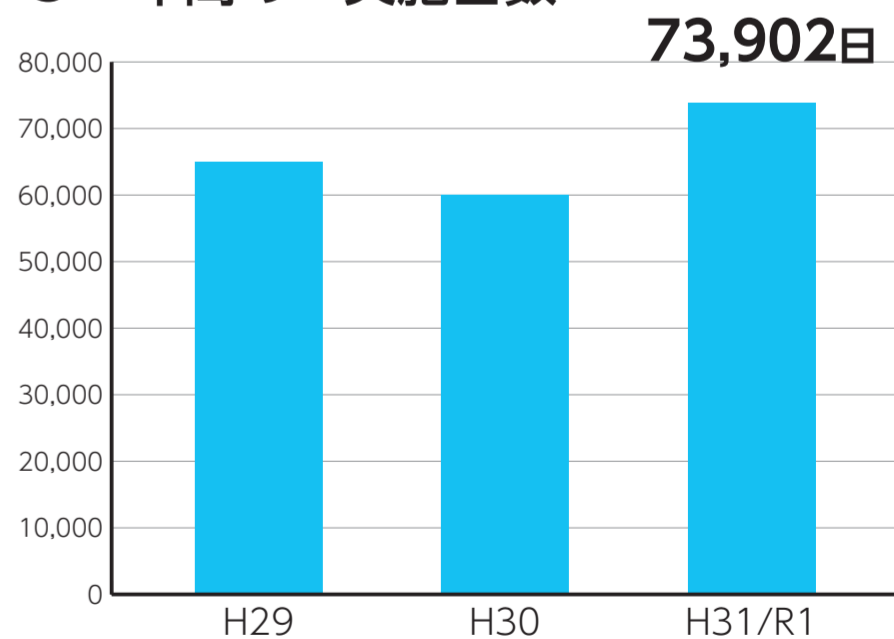
その他の例
 部活動支援・放課後や夜間の対応・進路指導

2 学習支援・体験活動



その他の例
 調理教室・手話教室・企業体験・地域探訪

3 年間のべ実施日数



1校あたりおよそ120日

活動に参加した地域の方 (のべ人数)

およそ420,000人

※数値は、地域と学校の連携・協働構築事業活用分
 ※1・2の数値は、令和2年度の計画値
 ※3の数値は、令和元年度の実績値

兵庫県内の様々な地域学校協働活動

地域学校協働本部や、P T A等を中心に、地域との連携による様々な活動が行われています。多くの活動が県内各地で展開されています。

※令和2年度は、活動を中止・変更している場合があります。

活動例 5 「ふるさとから学ぶ」体験・親子読書活動（佐用町） 佐用町立上月小学校 P T A

地域の和紙を使った行燈づくりや、オオサンショウウオの学習（環境学習）、特産物の「もち大豆」の加工体験などを行っています。

また、児童の家庭での過ごし方のヒントとして、親子読書を P T A全会員に呼びかけました。



活動例 14 「尾崎を学ぶ日」（赤穂市） 赤穂市立尾崎小学校【P8 掲載】

活動例 6 まちがく未来 高砂くらぶ（高砂市） まちがく未来 高砂くらぶ（スキルアッププログラム実行委員会）

園・学校と一緒に地域の子どもを育てることを目的としています。夏季学習会（近隣高等学校生）・家庭科ミシン隊（婦人会）等による学習支援や、浜辺の清掃活動・コロナ禍終息祈願等の地域貢献活動を行っています。

<http://www.takasago.ed.jp/taka-s/>（高砂小学校）



活動例 7 レッツ母里っ子未来塾と土曜体験活動（稲美町） 母里小学校地域学校協働本部（もりっこ本部）

地域の方と教員が連携した学習支援活動や、地域の方が講師となり、地域の歴史等を伝える「土曜体験活動」を実施しています。

クイズやゲームなど、大人も共に楽しみながら学べるよう、工夫を凝らして活動しています。

<https://www.town.hyogo-inami.lg.jp/0000004487.html>



活動例 8 保護者中心のボランティアの会 「灯足（ほた）るの会」「なでしこの会」（播磨町）

播磨町立蓮池小学校 P T A

校内でホタルの飼育・鑑賞会の実施。夏季休業中の校内「防災」キャンプの開催。朝読書の時間の読み聞かせなど、「つながり」を大切に活動しています。



活動例 9 地域 DE バードウォッチング・Kodomo と地域の WinWinPlan（洲本市） 洲本市立鮎原小学校

バードウォッチングを通して、地域・保護者の方と共に環境の多様性を学びます。また、文化発信拠点として関わりの深い図書館で、ともにボランティア活動を実施しています。



活動例 4 「夢オリンピック “夏”・“冬”」（新温泉町） 温泉地域こどもチャレンジスキルアップ実行委員会

温泉地域だからこそできる、親子で笑顔になる活動。

夏：ミニハードル走やスリッパ飛ばし競争、十字綱引きなど

冬：雪玉入れ、スノーフラッグス、カローリングなど

放課後子ども教室の充実とともに、新たな体験プログラムを実施しています。



活動例 1 「学校応援団」（丹波篠山市） ふるさとの自然から「発見！」

丹波篠山市立西紀南小学校【P1 掲載】

活動例 10 地域で学び、伝統や文化を次世代に引き継ぐ 加西市中央公民館（加西市）

子どもたちが楽しく生け花、茶道、盆栽、和菓子作りなどの伝統文化に触れる親子講座を実施しています。

ブログや Facebook 等情報発信を強化しています。

<http://1.city.kasai.hyogo.jp/chuo/>



活動例 2 「こうみん未来塾」 「おうちで寺子屋」 （三田市）【P2 掲載】

活動例 13 伊丹市のコミュニティ・スクール （伊丹市）【P7 掲載】

活動例 3 安全・安心を第一に、 新しい試みへのチャレンジ（宝塚市） 宝塚市立末広小学校【P2 掲載】

活動例 11 学校・家庭・地域がひろげる「はまっこまんまるねっと」（尼崎市） 尼崎市立浜小学校（浜小学校地域学校協働本部）

「学校のニーズ」と「地域ができる支援」について話し合った上で、読み聞かせや大型紙芝居、講義などを行っています。学校の「まち探検」や「キャリア教育」の受け入れを地域に呼びかけています。

<http://www.ama-net.ed.jp/school/E15/>



活動例 12 地元町内会と協力した地震・津波避難訓練（洲本市） 兵庫県立あわじ特別支援学校 P T A

町内会と協力して、地域の方も参加して、災害時に備えた避難訓練を、共に実施しています。避難経路等について、再確認する機会になっています。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~awajitoku-sn/>



全国の活動事例

令和2年度「地域学校協働推進」文部科学大臣表彰受賞活動

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/jirei/jireishu/hyosyo/index.html>

県内では、尼崎市・稲美町・播磨町の活動が受賞されました。おめでとうございます。



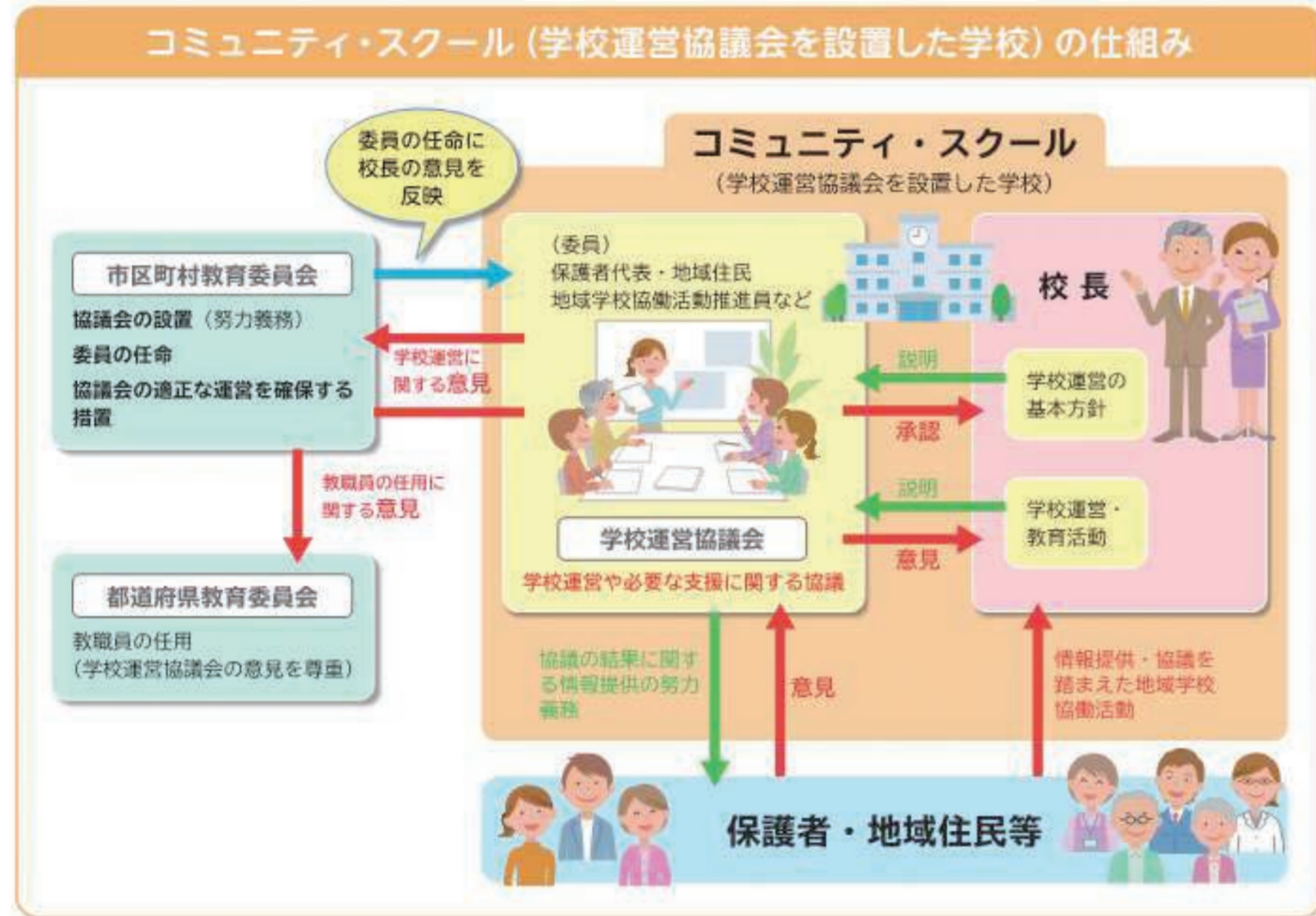
導入進む！コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールが全国的に増えています。兵庫県内でも、導入する市町が増加しています。「地域とともにある学校づくり」に有効なツール（手段）といわれるコミュニティ・スクールとは、どのようなものなのでしょうか。

コミュニティ・スクール＝「学校運営協議会制度を導入した学校」

【学校運営協議会】

法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。



学校運営協議会の主な3つの役割（地教行法第47条の6）※令和2年4月～：第47条の5

- 1 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 2 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
- 3 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる

～より詳しくコミュニティ・スクールについて知りたい方へ～

「学校運営協議会」設置の手引き（令和元年 改訂版）

主に自治体や学校の関係者を対象に、コミュニティ・スクールについてより詳しく解説しています。これからコミュニティ・スクールの導入を検討される場合には、是非ご活用ください。
※パンフレットは「学校と地域でつくる学びの未来」のHPよりご覧いただけます。

◇URLはこちら

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/document/pamphlet/index.html>



全国のコミュニティ・スクール
9,788校 (R2.7.1)

兵庫県のコミュニティ・スクール
221校 (R2.7.1)

コミュニティ・スクール事例集（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/school/detail/1376226.htm



伊丹市のコミュニティ・スクール

伊丹市では、学校運営について保護者・地域・学校がそれぞれの立場で意見を出し合い、何が出来るかを熟議する「学校運営協議会」を全校に設置しています。

学校運営協議会では、保護者・地域・学校が**目標を共有し、学校教育目標の実現や子どもたちが抱える課題の改善**に向けて、具体的な方策について熟議を行っています。そして、これらの取組を通して、地域・家庭・学校が協働する体制を構築し、「**地域とともにある学校づくり**」を目指しています。

どんなことが学校運営協議会で協議されていますか？

- <小学校>**
- ・子どもたちの**学習活動の充実、教育活動の支援**について
 - ・教員が**子どもと向き合う時間を確保**にむけて
 - ・委員や地域学校協働活動に係る**人材の確保**について
 - ・PTAや**地域との連携方法**について
- <中・高等学校>**
- ・**学力向上**に向けて
 - ・**不登校生**への支援について
 - ・**体験活動等の充実**について
 - ・教育活動の支援に係る**人材確保**について
 - ・**標準服（制服）**のあり方について

●協議・熟議した結果生まれた取組や成果の例

熟議や学校参観の成果として

学習環境の改善 授業力の改善や教員の資質向上

地域との協働につながった例として

面接指導の補助 家庭科の実習の補助 クラブ活動の補助 九九検定の補助

理科の実験準備等の補助 児童が植えた植物等の世話 休日の飼育動物の世話

清掃活動の補助 不登校生の支援 給食指導の補助

伊丹市 コミュニティ・スクールの取組
<https://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/EDGAKO/EDGAKOSIDO/1594606054202.html>



どんな成果を感じますか？

- ・学校と地域が**情報を共有**するようになった
- ・学校や学校運営に必要な支援等について**十分な協議**ができた
- ・保護者・地域の学校への**協力・支援体制が充実**した
- ・学校に対する**保護者・地域の理解**が深まった

今後、どのようなことが必要だと思いますか？

- ・委員と教職員の**意見交流等の場の設定**
- ・中学校区内の（小中・小小等）の**組織連携**
- ・協議内容や取組についての更なる**情報発信**
- ・委員や地域学校協働活動に関係する**人材の育成、人材の確保**
- ・既存の組織や取組の整理、役割分担等による**負担軽減**

社会総がかりでの教育の充実には、「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の**一体的な推進**がますます必要に!!



兵庫県では、コミュニティ・スクールを推進し、**協議の場（学校運営協議会）と活動する体制（地域学校協働本部や地域学校協働活動）**を一体的に進めていきます。→「協議と活動の一体的推進」とは？詳しくはP8

学校と地域の連携をさらに深めるために

～学校運営協議会と、地域学校協働活動の一体的な推進～

地域が一体となって子どもたちの成長を支えるさまざまな活動（学校支援活動、放課後子ども教室、土曜日の教育活動等）が「地域学校協働本部」等の体制のもと、全県で展開されてきました。これからは、学校と地域が共にパートナーとしてさらに連携を深めることが大切です。

そのためには、教育活動の目標やビジョンを関係者が共有し、必要な支援等について、学校運営協議会を活用した熟議を行い、これまでの地域学校協働本部等の活動で得られた、幅広い地域住

民等のネットワークを活用することで、学校における協議と、地域による活動の歩調を合わせることができ、このことにより、学校の教育活動や、地域学校協働活動がさらに充実・活性化させることにつながります。

さらに、学校と地域は、それぞれがもつ役割を十分に機能させることができ、相乗効果を発揮し、「地域の教育力の向上」や「学校を核とした地域づくり」「地域とともにある学校づくり」が一層進むと期待されます。

地域学校協働本部

「地域の教育力向上」
「学校を核とした地域づくり」を目指して

- 地域による
学校を支援する活動
・授業補助・環境整備 等
- 地域における
学習支援・体験活動
・放課後子ども教室
・地域未来塾
・土曜日の教育活動 等

PTA
自治会
地域スポーツ団体
地域団体
地元企業
NPO
社会福祉協議会 他

活動

協議

学校運営協議会

「社会に開かれた教育課程の実現」
「地域とともにある学校づくり」を目指して



様々な立場の関係者が一つのテーブルにつき、問題の解決を目指して対話すること（熟議）で、新しいアイデアや考え方が生まれます。

活動例14

もっと地域を知って、もっと地域を好きに「尾崎を学ぶ日」

～赤穂市（尾崎小学校）～

「地域とともにある学校」を目指し、地域と学校が力を合わせて学校の運営に取り組んでいます。地域行事等へクラブ活動が参加したり、地域の方がクラブ活動（伝統芸能）の指導を行ったりするなど、地域の人々の知識や技術等を活かしながら、子どもたちの学びの充実を図っています。

尾崎地区では従来から、ふるさとの良さを再発見し、愛着を深めることを目的として、地域で「ウォークラリー」を実施していました。地域の方々の「地域のことを子どもたちに知って欲しい！」という思いから、「尾崎を学ぶ日」として、平成29年度から学校行事にしました。小学校・PTA・「尾崎のまちを考える会」・自治会・交通安全協会・消防団・赤穂市都市計画課の合同開催です。

昨年度は、クイズを解きながら名所12カ所を巡る「尾崎名所ウォークラリー」と、「尾崎を学ぶ授業」を行いました。ウォークラリーのポイントでは、地域の方が名所の歴史を教えてください、地域の方と子どもたちのふれあいの場となりました。

コロナ禍の今年度は、ウォークラリーは実

施せず、小学校内で時間を限定して「尾崎を学ぶ日」を実施しました。

当日に実施した「尾崎名所クイズ」は、地域の方が作成し、届けてくださいました。低学年・中学年・高学年と、それぞれの学年に応じた問題で、「地域を知り、今後の尾崎を担って欲しい」という子どもたちへの思いが込められていました。高学年用のクイズには「尾崎のまちを静かで快適・安心・安全にするために、あなたが一番大事だと思うことは何ですか」といった問題なども含まれていました。

クイズの途中では、様子を見回っていた地域の方がヒントをだしてくれる場面もあり、昨年とは違う形で、子どもたちが地域の方とつながることができました。

学校運営協議会で、地域との連携についての窓口が一本化され、話し合いながら地域との連携について決定するので、活動が円滑に進んでいます。

今後は、子どもたちの地域への興味関心をもとに、子どもたちが主体的、継続的に取り組んでいけるように進めていきたいと思えます。



【編集後記】「ひょうごの地域学校協働活動」を最後までお読みいただき、ありがとうございました。「地域学校協働活動を身近に感じてもらう！」を motto に、このような形式でお届けしました。

コロナ禍で活動が難しい状況の中、安全を確保しながら工夫されている取組や活動への思いを、多くの方にお届けしたいと思います。読後に「こんなことができたらいいな。相談してみよう。」「参加してみようかな。」と、思っていたら幸いです。

今後も、未来を担う子どもたちの成長を支える活動の輪が、ますます広がるよう、情報発信に努めてまいります。

最後になりましたが、今回の作成にあたり、ご協力いただきました関係者のみなさまに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。